

平成21年12月25日

各 位

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 代表者 代表取締役社長 伊藤 主計
 (コード番号 3035)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 木村 裕史
 (TEL 052-931-1881)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年5月21日～平成22年5月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,504	147	139	60	16.57
今回発表予想(B)	9,004	171	163	84	23.19
増減額(B-A)	△500	23	23	24	
増減率(%)	△5.3	16.2	16.8	39.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年5月期)	9,519	121	115	58	16.18

平成22年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年5月21日～平成22年5月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,539	106	116	51	14.04
今回発表予想(B)	9,050	130	141	77	21.20
増減額(B-A)	△489	23	25	26	
増減率(%)	△5.1	22.5	22.0	51.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年5月期)	9,525	87	96	45	12.47

修正の理由

平成22年5月期第2四半期連結決算におきましては、生産効率の飛躍的向上が奏功したことなどから予想を上回る収益となりました。具体的には、サプライ事業において東日本・中日本・西日本の3大都市を中心にした3営業部体制を敷き、各営業部の責任者に執行役員を新たに配属することによる営業効率の向上、物流構造の改善を徹底的に行い、運賃及び荷造費の削減、営業効率の改善による車両維持費の削減、営業拠点の賃借料等の経費削減活動を継続的に行うことで、販売費及び一般管理費の大幅な削減をし、リサイクル商品(リパクトナー)の生産のライン化による抜本的な生産態勢の見直しが大きく寄与いたしました。

しかしながら当連結会計年度におきましては、依然として当社グループを取り巻く経済環境は厳しい状態が続くものと予想され、円高・株安・デフレによる経済環境が企業業績を確実に悪化させるものと推測されます。特に当社グループの主要商品であるリサイクル商品(リパクトナー)においては、デフレに伴う競争の激化により販売価格の下落が予想されるため、売上高に関して前回予想を下方修正しております。

営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、引き続き販売費及び一般管理費の削減、営業効率及びリサイクル商品(リパクトナー)の生産効率の向上を徹底的に推進することにより、前回予想を上回る見込みであります。

(注)本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上